

情報学委員会 国際サイエンスデータ分科会

WDS小委員会（第26期・第2回）

議 事 要 旨

日 時 令和6年3月25日（月）15:00～17:00

会 場 オンライン会議（ZOOM）

出席者（計15名）：

近藤、林、村山、芦野、池内、海老沢、門倉、北本、金尾、白井、陣、能勢、
花岡、橋口、松岡 各委員

欠席者（計5名）：

後藤、永崎、原、三好、Liu 各委員

議事要旨

（1） 本小委員会役員の選任について

村山委員長の進行により、資料1に基づき本小委員会の未決定の役員の選任（副委員長、及び幹事1名）が行われた。互選により副委員長に橋口委員、幹事に陣委員が推薦され、委員会で承認された。

（2） 本小委員会メーリングリストについて

金尾幹事により、本小委員会のメーリングリストについて説明があった。すでに2023年12月より運用しているが、アドレスの変更・追加等があれば金尾幹事まで連絡する旨、確認された。

（3） 関連会合・活動報告

- ✓ 「WDSの背景、位置づけの概略」について、村山委員長より配布スライドを元に説明があった。門倉委員より、WDSに加盟しているセンター間の連携について、また日本学術会議の役割りを踏まえてWDS小委員会および他分野のオープンサイエンスの議論の共通課題などの連携、国内向けの発信について、それぞれ質問があった。村山委員長よりWDS国際委員会ではWDSメンバーズフォーラムやリポジトリ・サステナビリティサミット2023といった場を設けて連携をすすめていること、また国内で多様な分野で情報・データの議論が進められている点については、方法論、文化、作法の異なる多様な分野をつなぐパートナーシップ、コーディネーションについては日本が今後挑戦すべき課題であると捉えているとの回答があった。また、WDS発足前の段階での日本学術会議のWDS小委員会の経過について

て、金尾幹事より補足がなされた。さらに白井委員から、学会レベルでのデータ関連情報の重要性を踏まえて、WDS小委員会からも関連情報の積極的な提供を期待する旨、コメントがあった。

- ✓ (WDC for Ionosphere and Space Weather) のセンター活動の近況について、陣委員よりスライドを用いて紹介があった。最近のDOI登録システム導入に関して、NICT全体でのDOI付与に関する現況等について、門倉委員より質問があった。
- ✓ 「科学データ研究会・WDS国内シンポジウム（第11回）合同研究会」（2024年3月26日開催）について、資料2及び配布資料を元に村山委員長よりプログラムの紹介があった。本小委員会からも多数の参加を希望する旨、説明された。
- ✓ 「データサイエンス国際シンポジウム（DSWS-2023）特集号」の準備状況について、資料3を元に金尾幹事より説明があった。2月末締切のData Science Journal特集号（Special Collection）への投稿希望が50件以上あり、今後7月末の投稿締切を経て2025年3月末を目途に、オンライン出版を目指す予定であることが説明された。
- ✓ 「ジャパン・オープンサイエンス・サミット2024」（2024年6月17 - 21日）について、村山委員長より資料4を元に、サミットの概要と準備状況の説明があった。現在、希望セッションの日割り調整中であること、ライトニングトークの募集が後日にあること、等が紹介された。また、日本学術会議の関わり方について門倉委員より質問があり、後援予定であることが村山委員長より回答された。

（４） その他

特に無し。

（以 上）

配布資料

資料1：本小委員会名簿（第26期）

資料2：科学データ研究会・WDS 国内シンポジウム（第11回）合同研究会
（3月26日、オンライン開催、サーキュラー #2）

資料3：データサイエンス国際シンポジウム（DSWS-2023）
Data Science Journal 特集号 準備状況

資料4：ジャパン・オープンサイエンス・サミット 2024